

\*\*\*\*\*  
**2015年 中部写真記者協会賞で**  
**メ～テレ「四日市あすなろう鉄道」がグランプリ受賞！**  
**～12月23日(水・祝)から「中部報道展」にて上映～**  
\*\*\*\*\*

中部写真記者協会（新聞・通信・放送 計31社加盟）の協会賞が12月16日(水)に発表され、最も優れた報道映像に贈られる「テレビ・映像部会」の協会賞（グランプリ）に、メ～テレ（名古屋テレビ放送）の「ローカル線の魅力 ～四日市あすなろう鉄道～」が選ばれました。メ～テレのグランプリ受賞は、2009年以来3回目となります。受賞作品は、12月23日(水・祝)～29日(火)に名古屋市中村区の名鉄百貨店本店で開かれる「2015年 中部報道展」で上映されます。（入場無料）

【協会賞(グランプリ)】「ローカル線の魅力 ～四日市あすなろう鉄道～」  
かわはら かずゆき  
撮影：川原 和征カメラマン （「UP!」2015年5月6日放送）

（概要）

廃線の危機にあった近鉄内部・八王子線は、4月1日から「四日市あすなろう鉄道」として再出発を切った。三重県四日市市を走るこのローカル線は、軌道の幅が狭く、今では全国に3路線しかない「ナローゲージ鉄道」としてファンの人気も高い。戦後間もなく作られたレトロな車両など、「昭和の趣」がこの鉄道の魅力の一つとなっているが、老朽化が進み、今後次々と新しい車両に代わっていく予定だ。沿線住民の思い出が宿る、「四日市あすなろう鉄道」の今をカメラで追った。



「ローカル線の魅力 ～四日市あすなろう鉄道～」より

※なお、メ～テレは上記の協会賞に加え、「ニュース企画部門」にて「しおりの戦後70年 ～おじいちゃんの左腕～」  
（撮影：高田竜也カメラマン、鈴木崇義カメラマン）が奨励賞に選ばれました。

**「2015年 中部報道展」**

- ・会場：名古屋市中村区 名鉄百貨店本店 本館10階 クローバーサロン
- ・期間：12月23日(水・祝)～29日(火) ※29日は午後5時まで ※入場無料



<受賞者>

メ〜テレ映像技術部 川原 和征 (かわはら かずゆき) カメラマン (50歳) (有)柳プレスサービス所属

<過去の受賞歴>

一般社団法人「日本映画テレビ技術協会」第66回(2012年度)映像技術賞(撮影技術ニュース部門)  
 対象作品:「ローカル線の魅力〜三岐鉄道・北勢線」(「UP!」2012年10月29日放送)

<中部写真記者協会賞での受賞歴>

2012年	ローカル線の魅力 ～三岐鉄道・北勢線～	「映像企画部門」優秀賞
2013年	ローカル線の魅力 ～明知鉄道・沿線の情景～	「映像企画部門」奨励賞
2014年	ローカル線の魅力 ～養老鉄道～	「映像企画部門」奨励賞
2015年	ローカル線の魅力 ～四日市あすなろう鉄道～	協会賞(グランプリ) ※今回

<受賞のコメント>

ローカル線の取材を始めて5年、これまでに7本の企画を放送しました。それぞれの鉄道について、どこに魅力があるのかを考えぬき、常に全力投球で映像化に臨んできました。

今回賞を頂いた「四日市あすなろう鉄道」は、今年4月に第三セクターに代わり、廃線の危機を脱したものの、老朽化した車両がぎりぎりの状態で運行を続けています。まさに「昭和の香り」が色濃く残る路線です。この企画を通じて、「四日市あすなろう鉄道」の魅力が一人でも多くの人に伝わればうれしく思います。

以上